

「卒業研究発表会」の後で亀山が例年思うこと

亀山 真典

亀山の感想 on 「卒業研究発表会」でのスライド

> スライドの文字

- > fonts on linux
- > 発表会で思うこと
- > 練習は嘘をつく?
- > 「学ぶ」「真似ぶ」

PowerPoint のフォントは「初期設定」から変更すべき

だいたい「游ゴシック Light」か「游ゴシック」なんだが、これだと「ウェイト」(文字の太さ)が弱すぎる

例えば、同じ大きさ (24 ポイント) の文字で比べてみると

これが游ゴシック

これが游ゴシック Light

これが游ゴシック Medium

これがメイリオ

亀山の偏見ですが、これに限らず
「Microsoft の標準は、世界の非標準」
みたいな話はけっこうあります

スライド中の文字の視認性を考えたら、せめて
「游ゴシック Medium」でないといけなんでしょう。

PowerPoint を使い続ける予定の人はぜひ、
自分の「スライドマスター」を変更しておきましょう。

Linux 使いの人は、スライドのフォントをどうするべきか?

➤ スライドの文字

➤ fonts on linux

➤ 発表会で思うこと

➤ 練習は嘘をつく?

➤ 「学ぶ」「真似ぶ」

Debian にフリーでインストール可能なフォントから選ぶとすれば、最近の亀山は「**原ノ味ゴシック**」がお気に入り

再び、同じ大きさ (24 ポイント) の文字で比べてみると
これが IPA ゴシック
これが IPAex ゴシック
これが原ノ味ゴシック

以前の亀山は IPA ゴシックを使っていたけど、文字のウェイトが十分に変更できないのに困っていた。
原ノ味ゴシックなら、ウェイトもそこそこ満足してます。

アルファベットを書く場合にも、
Times よりは Helvetica のほうがよさげか。
でも L^AT_EX 界限で標準的な Computer Modern も
意外と悪くないと亀山は思っている。

亀山の感想 on 「卒業研究発表会」での発表

- スライドの文字
- fonts on linux
- 発表会で思うこと
- 練習は嘘をつく?
- 「学ぶ」「真似ぶ」

「練習不足」はウソをつかない……って、毎年そう思う

「練習不足」が如実に現われてた事例といえば…

- ❑ 発表時間を守らない奴 (長すぎ、短すぎ)
「時間超過したくせに、まだ話を止めない」のか!?
- ❑ 発表ツールを正しく使えない奴
「PowerPoint や Teams を使って発表」するのが事前に
分かっているはずなのに、なぜ練習してないのか!?

こういうのは、「アタマのいい/悪い」以前の問題でっせ。

自分が発表することになったなら、

自分の発表を
人様に聞いてもらう

=

人様の時間を
自分が奪い取っている

という認識を十分持って準備するべきです。

特に「授業」はそうでないといけないと亀山は思っています。

おまけ: 「練習不足がウソをつかない」 んだとすれば?

では、**「練習はウソをつかない」** というのも本当か?

ダルビッシュ 有 (2010年6月11日の Twitter より)

練習は嘘をつかないって言葉があるけど、**頭を使って練習しないと普通に嘘つくよ。**

確かに、「練習」は「成功」の必要十分条件ではない。

(必要条件であるのは本当だけど、十分条件ではない)

では「頭を使って練習」とは、ということなのか?

林 修 (東進ハイスクール 現代文 講師)

努力は裏切らない、という言葉は不正確です。**正しい場所**で、**正しい方向**を向いて、**十分な量**なされた努力は裏切らない、が正しいんです。

- スライドの文字
- fonts on linux
- 発表会で思うこと
- **練習は嘘をつく?**
- 「学ぶ」「真似ぶ」

おまけ: 正しい「場所」「方向」の努力をするためには

- スライドの文字
- fonts on linux
- 発表会で思うこと
- 練習は嘘をつく?
- 「学ぶ」「真似ぶ」

とるべき方法は、「段階」によって違うと思うのですが、
まずは「**できている人のやり方をマネする**」ことです

Salvador Dalí (スペインの画家・芸術家)

何もまねしたくないなんて言っている人間は、何も作れない。

Francis Ford Coppola (アメリカの映画監督)

まずは**盗んでみて欲しい**。なぜなら、結局は盗みきれないからだ。盗めるのは、私たちが与えたものだけだ。君はそれを**自分のスタイルに取り入れ、自分のスタイルを見つけていく**。誰だって最初はそうだ。そしていつか、誰かが君から盗む日が来る。